

# テクニカルノート on Cisco C880 Emulex HBA ドライバアップデート プロシージャ

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[手順](#)

[ステップ 1. 最新版ファームウェア パッケージを cisco.com からダウンロードし、ローカルPC に得て下さい。](#)

[ステップ 2. これらのファイルを見つけ、Cisco C880 M4 サーバの /tmp フォルダに転送して下さい。](#)

[ステップ 3 OneCommand マネージャ \( OCM \) をソフトウェアがインストールされている確認して下さい。](#)

[ステップ 4. Emulex ドライバのどのバージョンがシステムで現在インストールされているか確認して下さい。](#)

[ファームウェアリリースを確認して下さい](#)

[ファームウェアリリースをアップデートして下さい](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

この資料は Cisco C880 M4 サーバの一部である Emulex HBA カードのファームウェアをアップデートするためにプロシージャを記述したものです。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- バスの I/O アクティビティは停止します
- SAP HANA 例は停止します

### 使用するコンポーネント

オペレーティング システムとして RedHat 企業 Linux ( RHEL ) を実行するこの文書に記載されている情報は Cisco C880 M4 v2 サーバにインストールされる Emulex HBA カードに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始して

います。サーバがライブである場合、あらゆるコマンドの潜在的影響を理解することをお勧めします。

## 関連製品

この資料もこのハードウェア および ソフトウェアによって使用することができます:

- SAP アプリケーション用の SUSE Linux 企業はシステムが確認する SUSE 特定のファイルを使用するためにオペレーティング・適切でした。
- Cisco C880 M4 v3 サーバは v3 特定のファームウェア パッケージをダウンロードするために確認します。

**警告:** Emulex カードが HP のようなサードパーティベンダーから再決め付けられる場合、サードパーティベンダーからのファームウェアを入手して下さい。Emulex からの Emulex ファームウェアを直接アップデートする場合、製品のサポート/保証を無効にするかもしれないし、ハードウェア障害を引き起こす場合があります。

## 手順

実際のファームウェアアップデートを行う前に、ファームウェア パッケージを [cisco.com](http://cisco.com) からダウンロードし、Cisco C880 M4 サーバに必要なファイルをアップロードし、OneCommand ドライバおよびマネージャが最新であるかどうか確認して下さい。

**ステップ 1.最新版ファームウェア パッケージを [cisco.com](http://cisco.com) からダウンロードし、ローカルPC に得て下さい。**

C880 M4 v2 ( IvyBridge ) に関しては: [ソフトウェアのダウンロード](#)

C880 M4 v3 ( Haswell ) に関しては: [ソフトウェアのダウンロード](#)

**注:** ソフトウェアパッケージは Cisco C880 M4 サーバのためのファームウェア ソフトウェアが同様にその上に含まれています。それらのコンポーネントをアップデートすることはこの資料でカバーされません。

**ステップ 2.これらのファイルを見つけ、Cisco C880 M4 サーバの /tmp フォルダに転送して下さい。**

```
./Driver/Emulex/Firmware/FTS_UniversalBootandFWMCF162EandLPe1600xfrom_10619322_1145685.GRP
./Driver/Emulex/Emulex_RHEL/FTS_EmulexOneCommandManagerforLinuxRHEL567R_102405101_1116465.zip
./Driver/Emulex/Emulex_RHEL/FTS_RHDUPdriverpackagelpfcforRHEL65_1024052610_1122818.zip
```

**注:** 参照される Cisco C880 M4 v2 サーバのファームウェア パッケージ 1.0.4 バージョンに属するファイル名の用心して下さい。名前はわずかに変更します。それは加えるのを好む

ファームウェアリリースによって決まります。

### ステップ 3 OneCommand マネージャ ( OCM ) をソフトウェアがインストールされている確認して下さい。

ルートとしてサーバへのログインは OneCommand マネージャのどのバージョンがインストールされているか確認し、：

```
# rpm -qa | grep ocm
elxocmlibhbaapi-10.2.405.10-1.x86_64
elxocmgui-10.2.405.10-1.x86_64
elxocmcorelibs-10.2.405.10-1.x86_64
elxocmjvm-10.2.405.10-1.x86_64
elxocmlibhbaapi-32bit-10.2.405.10-1.x86_64
elxocmcore-10.2.405.10-1.x86_64
```

この例では、OCM バージョン 10.2.405.10-1 がインストールされていることがわかります。より多くの最近のバージョンが前に転送した OCM パッケージで利用できるかどうか確認して下さい：

```
# cd /tmp
# unzip -t FTS_EmulexOneCommandManagerforLinuxRHEL567R_102405101_1116465.zip
Archive: FTS_EmulexOneCommandManagerforLinuxRHEL567R_102405101_1116465.zip
testing: elxocm-rhel5-rhel6-rhel7-10.2.405.10-1.tgz OK
testing: elxocmcore-rhel5-rhel6-rhel7-10.2.405.10-1.tgz OK
```

ファイル名のバージョン番号が同じである場合、ステップ 4 に進んで下さい、他ではほとんどの最新のリリースにアップデートすることを推奨します：

```
# cd /tmp
# unzip -t FTS_EmulexOneCommandManagerforLinuxRHEL567R_102405101_1116465.zip
Archive: FTS_EmulexOneCommandManagerforLinuxRHEL567R_102405101_1116465.zip
testing: elxocm-rhel5-rhel6-rhel7-10.2.405.10-1.tgz OK
testing: elxocmcore-rhel5-rhel6-rhel7-10.2.405.10-1.tgz OK
```

### ステップ 4. Emulex ドライバのどのバージョンがシステムで現在インストールされているか確認して下さい。

Emulex どのドライババージョンがサーバで現在インストールされているか確認して下さい：

```
# rpm -qa | grep lpfc
kmod-lpfc-10.2.405.26-1.x86_64
primergy-lpfc-10.2.405.26-1.x86_64
```

この例では、ドライババージョン 10.2.405.26-1 がインストールされていることがわかります。より多くの最近のバージョンが前に転送した OCM パッケージで利用できるかどうか確認して下さい：

```
# rpm -qa | grep lpfc
kmod-lpfc-10.2.405.26-1.x86_64
primergy-lpfc-10.2.405.26-1.x86_64
```

バージョン番号がなら同じは次のセクションを続行します。さもなければ最新 64bit ドライバリリースに最初にアップデートすることを推奨します：

```
# rpm -qa | grep lpfc
kmod-lpfc-10.2.405.26-1.x86_64
primergy-lpfc-10.2.405.26-1.x86_64
```

### ファームウェアリリースを確認して下さい

ここでは、設定が正常に動作していることを確認します。

OneCommand マネージャ CLI の使用によって、HBA によって使用されるポート WWNs のリストを得て下さい。ファームウェアのバージョンを確認し、リストから WWN の少なくとも 1 つを選択して下さい:

```
# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd listhba | grep 'Port WWN'  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:73:2f:6a  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:73:2f:6b  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:53:83:58  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:53:83:59
```

```
# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd hbaattributes 10:00:00:90:fa:73:2f:6a |grep FW  
FW Version : 1.1.43.202  
Operational FW : 1.1.43.202  
Service Processor FW Name : 1.1.43.202  
ULP FW Name : 1.1.43.202
```

ファームウェアリビジョンは OCM なしでコマンド・ラインで同様に利用できます:

```
# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd listhba | grep 'Port WWN'  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:73:2f:6a  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:73:2f:6b  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:53:83:58  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:53:83:59
```

```
# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd hbaattributes 10:00:00:90:fa:73:2f:6a |grep FW  
FW Version : 1.1.43.202  
Operational FW : 1.1.43.202  
Service Processor FW Name : 1.1.43.202  
ULP FW Name : 1.1.43.202
```

## ファームウェアリリースをアップデートして下さい

**注:** また、アップデート プロシージャは OneCommand マネージャの GUI の使用と実行されることが出来ます。X Window システムの OCM GUI を実行することを推奨します。GUI を開始するために `/usr/sbin/ocmanager/ocmanager` コマンドを使用して下さい。

最初にすべての WWN のリストを入手して下さい:

```
# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd listhba | grep 'Port WWN'  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:73:2f:6a  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:73:2f:6b  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:53:83:58  
Port WWN : 10:00:00:90:fa:53:83:59
```

次に、ファームウェアおよびブートコードをインストールするために `hbacmd` コマンドを実行して下さい。システム ( cfr の物とこれらのコマンドの WWN を取り替えて下さい。コマンドの出力 ):

```
# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd download 10:00:00:90:fa:73:2f:6a  
/tmp/FTS_UniversalBootandFWMCFC162EandLPe1600xfrom_10619322_1145685.GRP  
# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd download 10:00:00:90:fa:73:2f:6b  
/tmp/FTS_UniversalBootandFWMCFC162EandLPe1600xfrom_10619322_1145685.GRP  
# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd download 10:00:00:90:fa:53:83:58  
/tmp/FTS_UniversalBootandFWMCFC162EandLPe1600xfrom_10619322_1145685.GRP  
# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd download 10:00:00:90:fa:53:83:59  
/tmp/FTS_UniversalBootandFWMCFC162EandLPe1600xfrom_10619322_1145685.GRP
```

最後にファームウェアをアクティブにするためにシステムをリブートして下さい。

システムが再度利用できるとき、アップデートを、成功して再度確認しますファームウェアの最新バージョンを確認して下さい:

```
# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd hbaattributes 10:00:00:90:fa:73:2f:6a |grep FW
FW Version : 10.6.193.22
Operational FW : 10.6.193.22
Service Processor FW Name : 10.6.193.22
ULP FW Name : 10.6.193.22# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd hbaattributes 10:00:00:90:fa:73:2f:6a
|grep FW
FW Version : 10.6.193.22
Operational FW : 10.6.193.22
Service Processor FW Name : 10.6.193.22
ULP FW Name : 10.6.193.22
```

この場合、それはコピーし、得たファイルから /tmp ディレクトリをクリーンアップする時間です:

```
# /usr/sbin/ocmanager/hbacmd hbaattributes 10:00:00:90:fa:73:2f:6a |grep FW
FW Version : 10.6.193.22
Operational FW : 10.6.193.22
Service Processor FW Name : 10.6.193.22
ULP FW Name : 10.6.193.22
```

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。